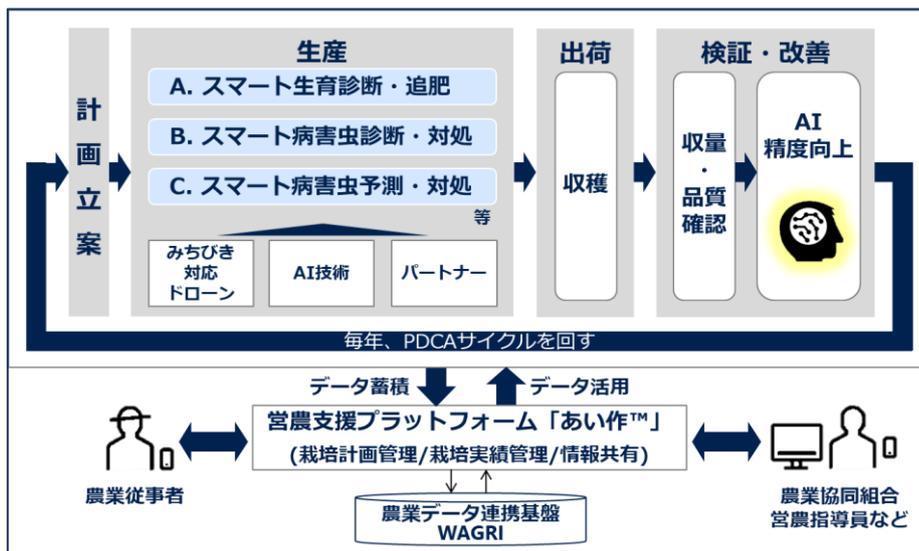


データドリブンなスマート営農ソリューション（日本電信電話）

【概要】

- 準天頂衛星みちびきに対応したドローンやセンサー等や NTT グループの AI を活用したデータドリブンなスマート営農ソリューションを推進。
- 「スマート生育診断・追肥」では、みちびき対応ドローンやセンサー等で取得した稲の画像データ等を用い、生育ステージを NTT グループの AI 技術で正確に診断、最も効果的な追肥タイミングを特定。
- 「スマート病害虫診断・対処」では、みちびき対応ドローンやセンサー等で取得した広範囲に及ぶ稲の画像データ等を AI 分析し、病害虫・雑草診断を推進。
- 「スマート病害虫予測・対処」では、NTT 研究所の AI 技術「corevo」を活用し、みちびき対応ドローンやセンサー等で収集した画像・位置情報データや水温・地温データなどと、気象データや地図データなどを組み合わせ分析。将来的に病害虫発生予測の実現を目指す。



【期待される効果等】

- 就農人口の減少と地球温暖化に伴う気候変動という、日本の農業における 2 つの主な課題に対応し、収量増と品質向上

札幌市データ活用プラットフォーム構築事業（日本電信電話）

【概要】

- 札幌地域経済圏における地域課題を解決するため、様々な分野におけるデータ利活用を可能とする札幌市 ICT 活用プラットフォーム（「DATA-SMART CITY SAPPORO」）を構築。産官学が連携しデータ集積や利活用・オープンデータ化（データの地産地消）を推進。
- 上記データ利活用の取組みを持続可能とするべく、札幌市が中心となり、地元企業等と運営団体「さっぽろ産業振興財団」に NTT も加わり、将来にわたって新たな価値創出にむけた取組みを推進中。



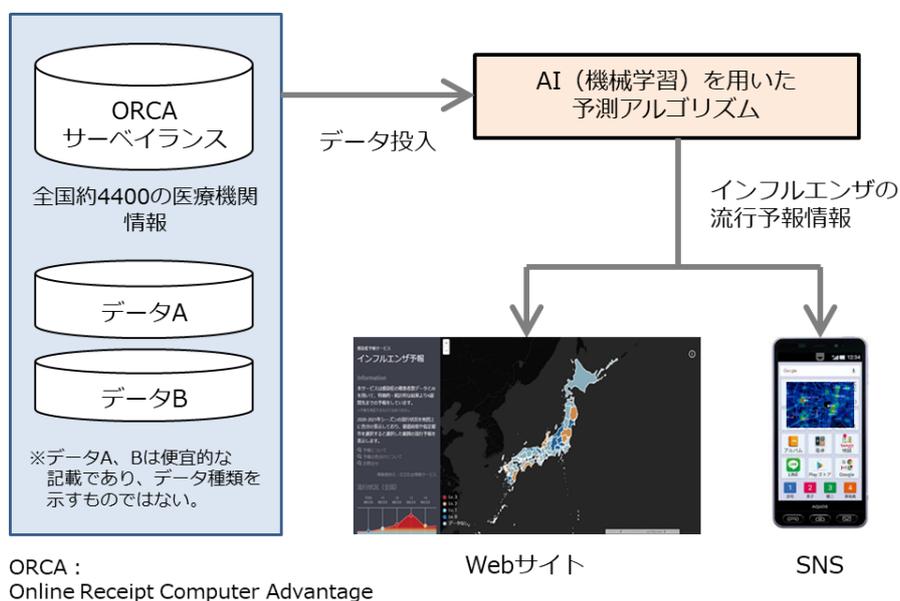
【期待される効果】

- 札幌市：地域が抱える観光・交通・インフラメンテナンス等における社会課題の解決
- 事業者：データ利活用による With/After コロナでの新たな観光様式確立

感染症予報サービス（日立製作所）

【概要】

- “人々が感染症に罹患しない世の中を創りたい”という理想を基に、日本医師会 ORCA 管理機構のサーベイランスデータを中心に各種データを組み合わせて AI で分析することで、全国地域別の 4 週間先までのインフルエンザの流行度合を情報配信可能な予報サービスを開発し、提供開始。
- 2019 年度および 2020 年度の冬季に埼玉県さいたま市で実証実験を実施。サービス利用者の 8 割以上が「流行予報を見ることで、より意識的に予防行動を実施した」と回答し、高い予防啓発効果を確認。人々の安全・安心のための情報インフラとなることを目指し、サービスを拡充中。



【期待される効果】

- 感染症は予報をもとに予防していくもの、という新しいライフスタイルを世の中に提案し、人々の QoL(Quality of Life)向上に貢献
- 予防啓発による国や自治体の公的負担（社会保障費）の抑制、予報情報を活用した民間企業の産業応用（販売促進・在庫管理・生産調整など）

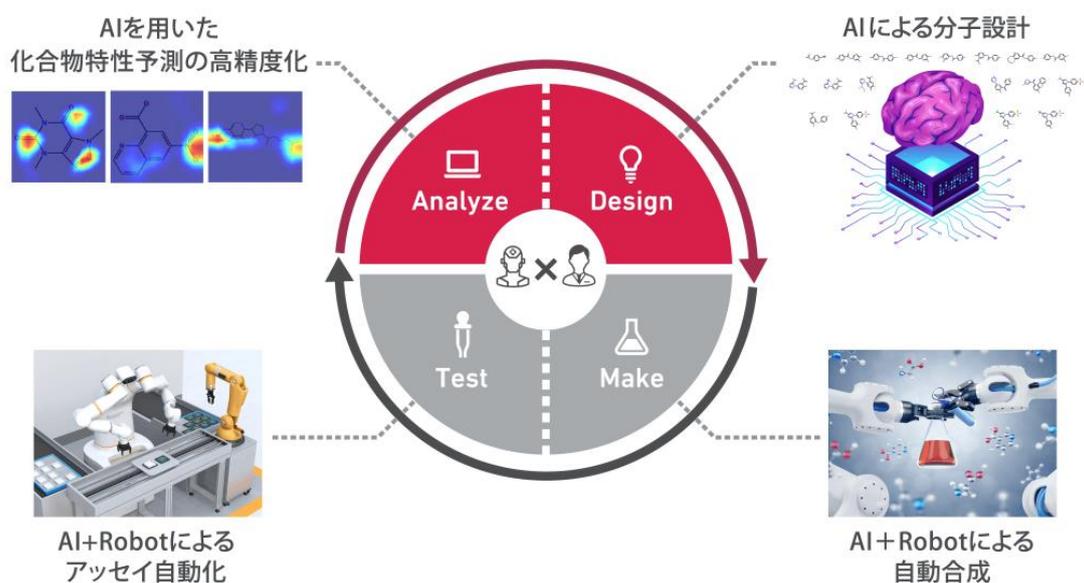
【今後の課題】

- さらに地域に密着した情報配信を可能にするため、国内の各種サーベイランスとの連携
- 新興感染症（COVID-19 を含む）に関する情報配信への応用

AI 駆動型創薬（アステラス製薬）

【概要】

- これまでの創薬研究で蓄積されたデータと AI やロボットを活用して、医薬品候補物質の探索・特定を実施。
- AI を用いたモダリティの特性予測の高精度化、AI による設計、AI とロボティクスによるモダリティの合成や評価の自動化などにより、創薬の効率化と高速化を実現。



【期待される効果等】

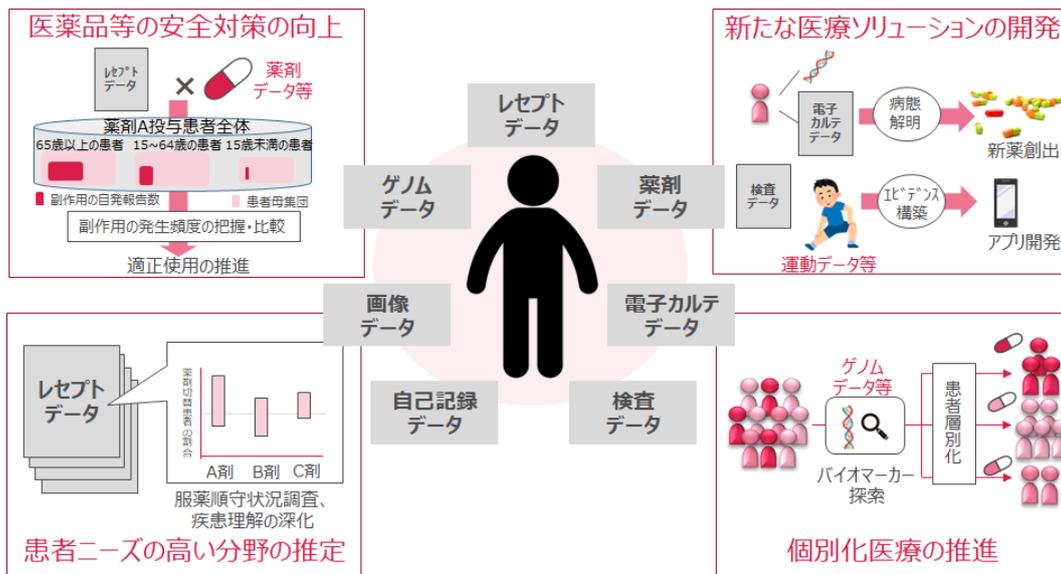
- 効率的な創薬研究の推進による短期間での革新的新薬の創出
- 健康寿命の延伸への貢献

医療・健康データの活用（アステラス製薬）

【概要】

- 個人に関する多種多様な医療・健康データを創薬研究に活用し、革新的新薬の創出等新たな医療ソリューションを開発し提供することで、世界の人々の健康に貢献。
- ゲノムデータや検査データ、PHR※に蓄積した自己記録データ等、詳細なデータは個別化医療や疾患病態の解明等に活用し、匿名加工したレセプトデータ等を医薬品等の安全対策の向上等に活用。

※PHR：Personal Health Record



【期待される効果等】

- 革新的新薬の創出
- 健康寿命の延伸への貢献